

福島県PTA連合会会報
第105号_H30.03.09

福島県PTA連合会



PTA 福島 第105号

県連P活動スローガン **子と親とが 共に育つ PTA 活動を**

編集：調査広報委員会 印刷：泉印刷所

子どもは地域全体で育てる！



福島県教育庁社会教育課長
菊池 篤志

読み聞かせ、ミシン操作、小学一年生の給食補助、登下校の見守り、昔遊び指導等々、これまで、学校の要請に応じて、地域の方々がボランティアとして、学校を支援する取組を実施し、それぞれの地域で多くの成果があがってきているところです。

県教育委員会では、教育政策の方針を示す「頑張る学校応援プラン」を策定し、様々な施策を進めております。主要施策の一つである「地域と共にある学校」では、新たに「地域学校協働活動事業」をモデル地区で実施し、保護者、NPO、民間企業等の幅広い地域住民の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、学校も地域に貢献するなど、学校を核とした地域づくりをめざして、連携・協働していくこととしていきます。

また、冒頭で述べました、学校への支援も継続し、放課後や土曜日等の学習支援活動、部活動指導、学校周辺環境整備等の地域の特性に応じた活動を実施し、さらに活動の幅を広げているところです。保護者の皆さんの中には、学校や地域の活動に対して、「何から始めたらよいか。」という疑問をもたれる方もいらっしゃるのではないかと思います。そのような方はまず、あらゆる機会に学校に足を運んでいただき、「何か自分にできることはないだろうか。」という視点で学校を見てみてはいかがでしょうか。今まで見えなかった何かが見えてくるはずですよ。そして、見えてきたことに対しては、PTA等の組織力を使って、学校と地域を結ぶ第一歩を踏み出していただきたいと思えます。「地域の子どもは地域全体で育てる」という思いをもつて……。

祝 全国PTA広報誌コンクール「文部科学大臣賞」授賞 福島市立飯野中学校PTA



▲表彰式



◀ 記念写真

中学時代って楽しい！を伝えたい

飯野中学校PTA会長 阿 曾 隆 一

本校PTA広報誌「こもれば」は学期毎に年三回発行し、今年で百二十八号と伝統を受け継いでおります。「中学校って楽しい！」をコンセプトに広報委員会が奮闘し、「イマドキの飯中生」などのアンケートや特集記事を通して、学生とPTA、地域の方など皆さん参加型の紙面を工夫しております。卒業記念号での「親から子へのメッセージ」は

何度読んでも目頭が熱くなります。この度の身に余る栄誉は、地域の皆様からも祝福を頂き、明るい話題が届けられたことを大変嬉しく思います。ご支援頂いた皆様に心から感謝申し上げますと共に、子どもたちの健全な育成を目指し更に充実したPTA活動として参る所存です。ありがとうございました。



もくじ

- 福島県教育庁社会教育課長あいさつ…………… P 1
- 全国PTA広報誌コンクール「文部科学大臣賞」授賞… P 1
- 特集 福島・水俣交流事業…………… P 2～P 4
- 県教育長との懇談・要望…………… P 4
- 子ども災害事故防止 習字・ポスター展… P 5
- 事務局からのお知らせ…………… P 6

平成29年11月3日(金)~11月5日(日)

5年間のしめくくり、ありがとう水俣市

第1日目 11月3日(金)

- 開校式
- 講演
- 班会議、名刺交換
- 熟議 I



水俣市からメイン会場「郡山がくと館」到着



福島県参加者がお迎えのハイタッチ



〈開校式〉



福島・水俣交流事業 生徒交流学習会



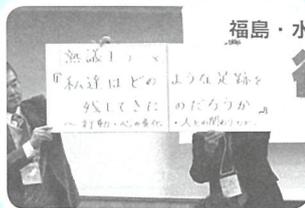
前水俣市長講演



名刺交換「どうぞよろしく」



久しぶりの再会



福島・水俣

テーマ：私たちはどのような足跡を残してきたのだろうか



テーマについて班別会議



五年間の 水俣交流事業を終えて

実行委員長 鈴木辰也

福島と水俣との交流事業が始まり、今年度五年目を迎えました。この間、県内のみならず水俣市内からも多くの生徒が参加し実施してきた交流事業でしたが、今年度をもって終止符を打つこととなりました。この事業によって子供たちは、多くの体験学習や仲間との交流会を通して成長することができました。東日本大震災・原発事故によって甚大な被害を受けた福島県と公害病である水俣病でいわれなき差別や偏見を受けた水俣市。同じような境遇にあった

故郷を、これからどうしていくのか中学生が本気になって考え、自分たちができるアクションプランを立案し実行に移していく。そんな姿を目の当たりにして、事業に携わってきた大人は、目頭を熱くし感動を覚えてきました。それは、子どもたちの故郷へ寄せる思いが純粹で、稚拙ではあるが、自分たちが未来を創っていくんだという熱意を感じとってきたからです。

大人が変われば子供が変わる、子供が変われば未来が変わるといいます。でも、この事業で、私たちは子供が変われば大人も変わるということを経験しました。子供たちの明るい笑顔と元気さは大人をも明るくしてくれそうですし、何より未来への展望が開けます。そんな子供たちを見守り育てていくのは、我々大人の責任です。これからも、宝物である子供たちのためにさらに尽力していきたいと思っております。



環境創造センターにて

特集

福島・水俣交流事業

～共に築き上げた福島県と水俣市の交流～

第3日目 11月5日(日)

- 発表会
- 閉校式
- 解団式

第2日目 11月4日(土)

- 環境創造センター見学
- 安積黎明高合唱
- 熟議Ⅱ～Ⅳ



発表

〈発表会〉

ご静聴ありがとうございました、礼!

〈環境創造センター見学〉



福島県の復興のあゆみ

原発事故の動画視聴

原発事故当時の模型

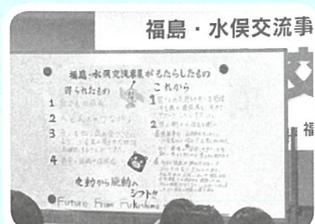
霧箱で放射線を見る

〈閉校式〉

「花は咲く」の全員合唱



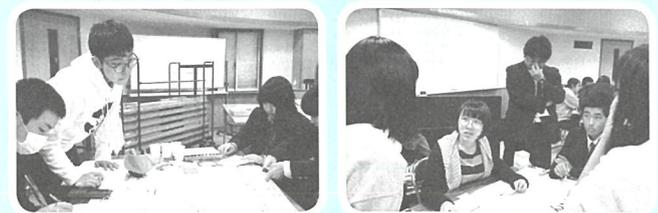
終了挨拶「いつかまたお会いしましょう」



交流がもたらしたの～得られたもの～これから～



中学生も高校生も水俣も福島も一つになって



〈熟

あれから数年、仲間との再会 2度目の福島・水俣交流事業に参加して

福島県立会津高校

二年 新妻 知江

私はこの「福島・水俣交流事業」に参加して、中学二年生で参加した時と比べ、色々なことを学び、経験したことで、より深くこの事業のテーマである「福島」のこれからについて考えることが出来ました。

今回、福島県環境創造センターを見学し、熟議しました。私はそこで震災や放射線などに関するお話を聞いて、震災にたい、放射線の被害を受けている福島県に住んでいながら、知らないことがたくさんあり、衝撃を受けると共にとても情けなく感じました。

熟議では、「未来に向けてどのよう

郡山市立大槻中学校

三年 本名 莉子

私は、福島 水俣交流事業に参加して、とても大きく成長できたと思います。

私は、生徒会長ということで参加させて頂きました。しかし、参加する前の私は、人前で話すときに緊張してしまったり、多数の意見をまとめるのに時間がかかってしまったり、会長として未熟なところが多くありました。そのため、この交流事業に参加が決まったときは、正直不安でいっぱいでした。

でも、学校の代表として参加するからには、自分の未熟なところを少しでも直し、福島と水俣の交流を深めるために全力を注ぎようと思えました。そして、二泊三日の研修では本場に様々なことを学びました。特に、強く心に残っ

いうテーマで考え、子供だから出来ないかと嘆くのではなく、今しか出来ないことが必ずあるはずだと思えました。高校生の私には、この事業で学んだことをたくさんの人に伝え、行動することが出来ます。また、大人になって役立てられるように、今出来る知識・見聞を広めておくべきだと考えました。

今回の事業に参加し、私は色々な考えや価値観を持った人とたくさん話をし、見聞を広めることができ、プラスになることが多くありました。ここで学んだことを生かし、これから様々な人との出会いを大切に、私の大好きな「福島」が明るい未来になるよう考え続け、復興に携わる人になり貢献したいです。

ていることが二つあります。一つは、人と人とのかわりを大切にすることです。この事業は多くの中学生との出会いの機会を与えて下さいました。この事業で多くの熟議を交わし、互いの故郷の復興を共に願うことのできる良き同志に巡り合えたことに感謝します。二つめは、自分の故郷を知ること

が復興の第一歩だということです。この事業を通して、私たちのような若い世代が自分の故郷に誇りを持ち、次の世代に伝承することが必要だということとを学びました。多くの情報が交差する現代社会で、正しい情報を見極め、選択し、発信することがこの事業に参加した私たちの使命だと思っています。このような素晴らしい経験のできる機会を与えて下さり本当にありがとうございます。

保護者(母)から

今回の事業の案内があり、「参加したい」と言ってきたのは娘からでした。人見知りです引込み思案な娘が「参加したい」と言ってきたのは驚きでしたが、三年前の研修で出会えた友達との存在が大きくなってきたのだと思います。今回、友達と再会できたこと、新たに友達が増えたことを喜んで報告してくれました。人とのつながりの大切さや喜びを感じているのだと思います。

さらに今回は、「福島」についてより深く話し合っ

てきたように思います。以前は見えてこなかった部分が見えたり、感じたりする力が頼もしくなりました。今自分のできることは何かを考え、正しい情報を発信できる力を身につけ、自分の意見をしっかりと持ち、分かりやすく伝えてもらいたいと思います。

保護者(母)から

福島・水俣交流事業に参加が決まった時、正直、うちの娘に何が出来るのだろうと思いました。ただ、本人が期待に胸を膨らませている姿を見て、私も、親としてできることを考えました。保護者として事前研修会に参加した際、「参加した後は変わりますよ」と言われ、半信半疑でしたが、たったこれだけの期間に、ここまで成長するかと驚くほどでした。娘には、小学生の頃から、なりたいたい仕事はありましたが、それは「夢」という漠然としたものでした。しかし、最近では、「目標」に変わってきたようです。今の自分に何が出来るか、今は何をすべきか、そして、今の行動が将来にどうつながっていくのか、そんなことを真剣に考えているようです。心の成長が著しい時期に、貴重な体験ができたことは、とてもよかったです。私は、常日頃から、「周りの助けがあつてこそ、今の自分があるんだ」と、子供たちに話しています。今回、娘に成長する機会を与えていただき、大変感謝しています。

県教育長との懇談・要望

去る、一月二十二日、本会を代表し、小林会長以下七名で県教育委員会を訪れ、鈴木淳一教育長様へ要望書を提出してきました。提出後、教育長様他関係者(各課担当者)の方々と懇談をしました。懇談では、小林会長より要望事項について具体例を交えながら説明があり、それに対し教育長様より一つ一つ丁寧な回答をいただきました。福島県としての取り組みや、これからの方向性、そして連携の在り方について意見交換を行うことができ、有意義な時間となりました。



要望事項

- 1 スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの継続配置、手厚い配置について
不登校やいじめ等、心に不安や悩みを抱える子どもたちとその保護者の支援のため、今後も十分な体制と人員確保をお願いしたい。
- 2 教職員の確保について
少人数教育の実施により、個に応じたきめ細かい指導ができていないと考える。これを継続するためにも、県で推進している少人数教育の継続をお願いしたい。
また、学校教育の充実・教職員の多忙化解消のためにも教職員の確保が絶対条件だと考える。教職員数の確保をお願いしたい。
- 3 特別な教育支援が必要な児童生徒の指導の充実のために
学校生活において特別な支援を必要とする児童生徒が増えている。県教委として、教職員対象の研修の充実やさらなる個に応じた指導が可能となるような指導体制、人員の確保をお願いしたい。
- 4 教職員の多忙化解消のために
先生方が子どもたちと向き合い、諸課題に対応しているようにするためにも、教職員の多忙化解消に向けて、より具体的な解決策を講じ今後も取り組んで頂きたい。特に、中学校現場での部活動指導の在り方等については、今後も検討して頂きたい。

第41回子どもの災害事故防止 習字・ポスター展

四十一回を数えた今回も、温かいご支援とご協力をいただき開催できましたこと、厚く御礼申し上げます。関係の先生方のご理解・ご協力に感謝いたします。

審査の先生方(敬称略)

○習字

- 丹治 英郎 (元福田小学校長)
- 鈴木 幸子 (元蓬萊小教諭)
- 丹野 栄 (元杉田小学校長)
- ポスター
- 土屋 悦男 (元福島第三小校長)



▲小2年 白河二小 室井悠悟さん



▲小5年 福大附属小 黒江ゆり香さん



▲中3年 四倉中 千葉奈央さん

習字の部入賞者

▼小学校の部

◆最優秀賞《一年》郭 信

- 勇 (湯本三) 《二年》室井 悠伍 (白河二) 《三年》芳 賀永悟 (磐崎) 《四年》佐 川樹里 (石川) 《五年》黒 江ゆり香 (福大附属) 《六 年》石川莉子 (鎌田)

◆優秀賞《一年》諸橋紗和

- (白河二) 山王花倫 (福大 附属) 大館優有 (磐崎) 《二 年》大原詩子 (福大附属) 根本蒼昊 (みさか) 添田結 来 (石川) 《三年》荒木七 海 (湯本二) 二瓶彩良 (鶴 城) 菅井惇平 (荒館) 斎藤 ゆうあ (富田) 古川悟也 (笈川) 《四年》室井楓伍 (白 河二) 渡邊真麻 (福大附属) 郭 信智 (湯本三) 安藤菜 祐 (須賀川三) 菅原文一郎 (鶴城) 《五年》齋藤さあり (富田) 佐久間 新 (三春) 廣田 凜 (鎌田) 菅井大輔 (荒館) 迎 彩花 (石川) 《六 年》舟木愛咲 (鶴城) 福島 夏菜子 (白河二) 阿久津拓 哉 (湯本三) 佐々木亜花里 (熊倉・西白河) 安田華梨 (福大附属)

◆優良賞《一年》橋本 舞

- (白河三) 戸田純乃 (姥堂) 杉原悠馬 (鶴城) 溝口陽叶 (稲田) 《二年》荒木美海 (湯 本二) 鈴木夏帆 (五箇) 鈴 木紗菜 (湯本三) 加藤愛菜 (磐崎) 《三年》阿部苑子 (柏 城) 小野菜々子 (須賀川二) 佐藤美月 (常葉) 結城優花 (豊川) 小島来土 (白河三) 小坪来人 (中畑) 丹治夏帆 (福大附属) 《四年》草野侑 南 (小川) 近藤美彩 (棚倉) 櫻井絢音 (白河一) 佐藤悠 翔 (鎌田) 坪井愛理 (関本) 鈴木玲王奈 (平一) 大場あ ゆ (勝常) 《五年》芳賀千 咲 (磐崎) 鈴木那奈 (五箇) 高根沢暖花 (熊倉・西白河) 熊田愛理 (白河三) 霜田 楓 (白河二) 長谷川百々花 (平一) 塩 亮子 (湯本二) 《六年》木村知葉 (白河一) 福地春路 (笈川) 大野真於 (石川) 渡辺華怜 (釜子) 古田彩華 (磐崎) 齋藤真歩 (中村一) 庄司琴美 (東和)



▼中学校の部

◆最優秀賞《一年》鈴木末

- 来 (会津学鳳) 《二年》佐 川光由 (平一) 《三年》千 葉奈央 (四倉)

◆優秀賞《一年》齋藤 瞳

- (一箕) 《二年》柳沼愛衣 (一 箕) 《三年》鈴木千紗都 (会 津学鳳)

◆優良賞《一年》蛭原風馬

- (天栄) 《二年》大山奈々花 (須賀川二) 《三年》星井も もこ (郡山二)

ポスターの部入賞者

▼小学校の部

◆最優秀賞《一年》佐藤

- 昊 (須賀川二) 《二年》今 野花音 (久之浜一) 《三年》 鈴木歩純 (釜子) 《四年》 本宮新汰 (小野田) 《五年》 迎 彩花 (石川) 《六年》 則貞千尋 (鶴城)

◆優秀賞《一年》太田悠希

- (白河一) 《二年》尾股優生 (白河二) 《三年》長谷川ひ より (棚倉) 《四年》山田 樹里 (駒ヶ嶺) 《五年》嶋 崎桃花 (白河二) 《六年》 永山 結 (白河一)

◆優良賞《一年》小椋真大

- (喜多方二) 《二年》荒井桜 花 (五箇) 《三年》原明日 奏 (棚倉) 《四年》山本実 紀 (鶴城) 《五年》佐藤 詩 (須賀川二) 《六年》佐 藤悠希 (旭)

▼中学校の部

◆最優秀賞《二年》小林萌

- 恵 (白河中央)
- ◆優秀賞《二年》齋藤志保 (白河中央)
- ◆優良賞《一年》渡部結羽 (須賀川一)



▲小一年 須賀川二小 佐藤 昊さん



▲小五年 石川小 迎 彩花さん

安全互助会から

一月に平成三十年度安全互助会への加入案内をしております。

◎今後の日程等

○加入申し込み締切

……三月十二日(月)

※まだのところがありましたらお急ぎください。

○「会員証」「事務取扱概要」の送付……四月中

○会費納入……五月末日

○会費引落とし

……六月四日(月)

※ただし、口座引落としの手続きをされている学校・園のみ

※新たな会費の口座引き落としを希望される場合は、四月中に本会宛にご連絡ください。

◎事故報告について

① 傷害事故、賠償事故の報告については、ケガをした日・事故が発生した日が基準となります。

三十年三月三十一日までに発生した事故については、二十九年度の会員証番号・加入コース・学年で報告してください。

② 三十年四月一日以降のケガについては、三十年度の会員証番号となります。

③ 平成三十年度の「傷害事故報告書」と「賠償事故報告書」の様式が一部変更となります。四月に「会員証」といっしょに新しい「事故報告書」を送付いたしますので、確認の上本会宛に報告願います。

◎保険金請求について

学校・園からの事故報告に基づき、保険会社から請求者である保護者宛に請求関係の書類一式が送付されます。(共栄火災海上保険株式会社名で発送されます。)

治療終了後、保護者様より速やかに保険会社へ保険金請求書類を提出していただくこととなります。

現在、十八歳未満の子どもの医療費は無料となっておりますが、本制度は、あくまで保険制度であり、医療費とは別に支払われるものです。

面倒がらずに請求手続きをするように、担当の先生方からも、保護者の方に伝えてください。

編集後記

去る一月二十日、日P役員・理事並びに県P正・副会長合わせて十九名で、東京電力福島第一原子力発電所構内を視察してきました。厳しい検査を受けたあとバスに乗り、構内を巡回しました。各箇所東電の方より施設・設備等の説明を受け、震災後、取り組んできた営みや現在の状況についてのお話がありました。原発の今を目の当たりにすることができ、貴重な体験でした。震災後七年が経過しようとしています。忘れられない、忘れてはいけない現実がそこにあることを実感しました。

平成30年度研究大会等の予定

月	主な行事	
6	県P小・中懇談会	18日(月)
8	日P研究大会新潟大会	24日(金) 25日(土)
9	日P東北ブロック研究大会秋田大会	15日(土)
	県P母親代表者懇談会	16日(日) 21日(金)
10	県P研究大会喜多方大会	14日(日)

共栄火災

夢を、未来を、
ずっと近くで支えたい。

つながり強化宣言! 共栄火災



サイ吉

人々が気持ちよく毎日を暮らせるよう、安心の手カラでそっと支えるサイ。共栄火災のサイ吉です。